

# セービングノズルY型

(畑用少量散布ノズル)

セービングノズルY型(畑用少量散布ノズル)は、従来の国産ブームスプレーヤ(乗用管理機)で少量散布(25L/10a)を可能にしたノズルです。北海道では100L/10aを慣行散布として行われていて、少量散布(25L/10a)を行うことで水の補給における作業の効率化などでコストダウンや環境負荷低減を目的とし、安全に効果高められるノズル(\*)として開発されました。(\*)は図1、表1、表2参照。

## 特長

- 1 従来の国産ブームスプレーヤ(乗用管理機)に取付けでき、圧力1.0~1.5MPaの噴霧で10a当り25リットルの少量散布ができます。また、2方や3方の切替ノズルに取付けすることで慣行散布との併用も簡単にできます。
- 2 ノズルは噴霧粒子径を大きくした空気非混入タイプで、従来慣行ノズルに比べドリフト(漂流飛散)を抑え、付着性を向上させるため2層の扇形噴霧でノズルの開き角度を90°にしています。(噴霧粒子径は従来慣行ノズルで平均約60μmに対して、セービングノズルY型は平均約160μmと大きくなっています。)
- 3 ノズルの目詰まり防止として、ストレーナ(80メッシュ)が内蔵されています。
- 4 噴霧停止時、濃厚な薬液がノズルの先から落ちないようにボタ落ち防止用のチャッキバルブが内蔵されています。



セービングチップ5 Y型



セービングノズル5 Y型  
直P1頭口



セービングノズル5 Y型  
直M1頭口 (W20)

## 仕様

コード No.	493612	144031	144032
商品名	セービングチップ5 Y型	セービングノズル5 Y型 直P1頭口	セービングノズル5 Y型 直M1頭口
適正圧力	1.0~1.5MPa	1.0~1.5MPa	1.0~1.5MPa
噴出量(1.0MPa)	0.35L/分	0.35L/分	0.35L/分
噴出量(1.5MPa)	0.43L/分	0.43L/分	0.43L/分
ノズル開き角度	90°	90°	90°
平均粒子径	168μm(1.0MPa)	168μm(1.0MPa)	168μm(1.0MPa)
全長・質量	41mm・15g	53mm・20g	51mm・33g
取付ネジ	W20(スリットあり)	SW13.8	W20(スリットなし)
標準小売価格	¥1,313(税込) (本体 ¥1,250)	¥1,785(税込) (本体 ¥1,700)	¥1,890(税込) (本体 ¥1,800)

## 防除効果試験データ

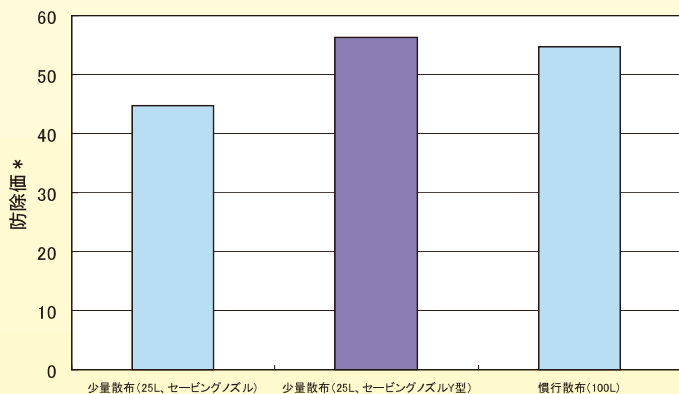


図1 コムギ赤かび病に対するセービングノズル Y 型の発病抑制効果  
(地独) 北海道立総合研究機構・中央農業試験場、十勝農業試験場による試験成績)

\*防除価が高いほど赤かび病に対する抑制効果が高い。このグラフの防除価は発生の多かった 22 試験の平均値を示した。セービングノズル Y 型を用いた少量散布(25L/10a)の抑制効果は慣行散布(100L/10a)とほぼ同等であった。

表1 少量散布によるコムギ雪腐褐色小粒菌核病の防除効果(2007年、道総研中央農業試験場)

供試薬剤	散布水量	希釈倍数	供試ノズル	発病度 (防除価)
テブコナゾール 水和剤	25L/10a	500倍	セービングノズル	0.0 (100)
	25L/10a	500倍	セービングノズル Y 型	0.1 (99.5)
	100L/10a	2000倍	カニ目二頭口	0.0 (100)
無散布	-	-	-	20.8

表2 少量散布によるコムギ赤さび病の防除効果(2007年、道総研中央農業試験場)

供試薬剤	散布水量	希釈倍数	供試ノズル	止業の病斑面積率(%) (防除価)
プロピコナゾール 乳剤	25L/10a	500倍	セービングノズル	0.036 (88)
	25L/10a	500倍	セービングノズル Y 型	0.037 (87)
	100L/10a	2000倍	カニ目二頭口	0.012 (96)
無散布	-	-	-	0.292

\*雪腐褐色小粒菌核病、赤さび病に対するセービングノズル Y 型を用いた少量散布(25L/10a)の防除効果はカニ目二頭口の慣行散布(100L/10a)とほぼ同等であった。

## 散布性能

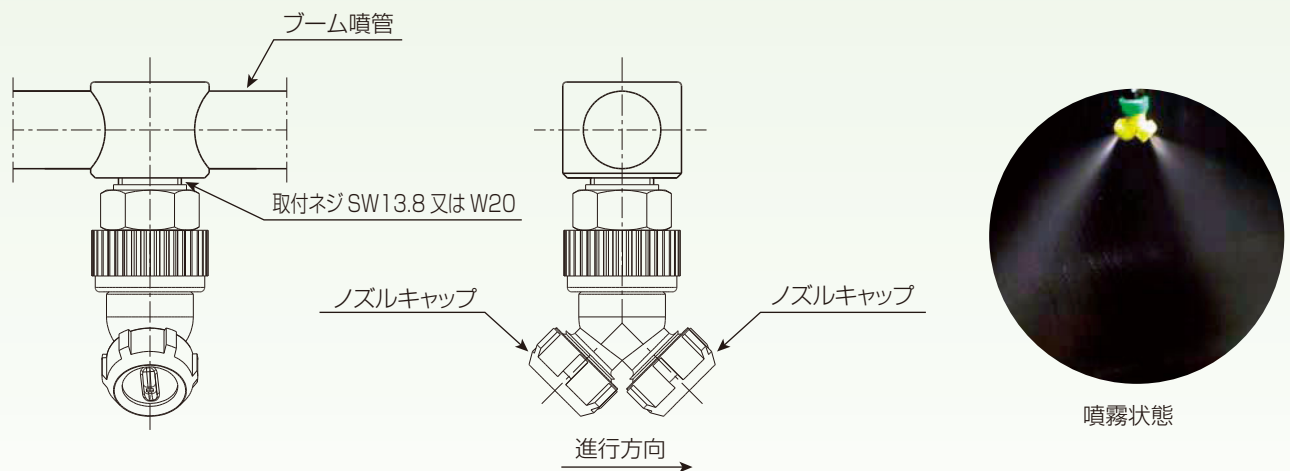
反当散布量 (L/10a)	圧力 (MPa)	噴出量 (L/分)	散布速度		平均粒径 ( $\mu\text{m}$ )	100 $\mu\text{m}$ 以下の 粒子割合 (%)
			(m/s)	(km/h)		
25	1.0	0.35	0.78	2.8	168	16
	1.5	0.43	0.96	3.4	154	18

## 10a当りの散布量換算表

ノズル 孔径 (mm)	圧力 (MPa)	噴出量 (L/分)	ブームスプレーヤ散布速度 km/h (m/s)				
			2.5 (0.69)	2.8 (0.78)	3.1 (0.86)	3.4 (0.94)	3.7 (1.03)
$\phi 0.5$	1.0	0.35	2.8	2.5	2.3	2.1	1.9
	1.25	0.39	3.1	2.8	2.5	2.3	2.1
	1.5	0.43	3.5	3.1	2.8	2.5	2.3

ブームスプレーヤのノズル間隔は30cmでの換算値。

## ノズルの取付方法と噴霧状態



噴霧パターンは扇形のため、上図の側面から見た図のようにノズルキャップが進行方向に対して前後になるよう、固定して下さい。固定の際は、手で軽く締め付けた後、工具を使って約1/2回転（締め付けトルク $2\text{N}\cdot\text{m}$ 以内）以内※で締め過ぎのないように増し締めして下さい。

※1/2回転を超えて回しますと、ネジ部が破損する恐れがあります。

## 散布作業前と作業時の注意

- 散布圧力は1.0～1.5MPa内、散布速度は2.8～3.4km/h（0.78～0.94m/s）内で上記10a当りの散布量換算表より散布圧力と散布速度を決め、10a当り25リットルの散布が正しくできることを確認して行って下さい。  
散布の確認方法としては、水を使ってスプレーヤを始動し、上記のノズル取付け状態にして各ノズル部より漏れや目詰まりがないことを確認し圧力調整を行います。容器を準備しその中にノズル1個から1分間に噴霧される水量を測定し、10a当りの散布換算量より圧力1.0～1.5MPa内の噴霧量に圧力調整し噴霧中の圧力を決め、その圧力より散布速度を求めます。  
次に実際の圃場にて、50m又は100mをテスト走行しその走行時間より散布速度を割出し換算表の圧力より求められた散布速度になるよう速度調整してテスト散布し確認を行って下さい。
- ご使用前に使用される農薬やスプレーヤ等の取扱いに従って行って下さい。
- ノズルと作物の散布高さは30cmより低くならないようにし、また、あまり高くしますと飛散が多くなりますので30～40cmを目安にして散布して下さい。

【販売元】

【製造元】

 ヤマホ工業株式会社

本社・工場 〒649-1442 和歌山県日高郡日高川町江川280-1  
TEL. 0738-53-0321 / FAX. 0738-53-0929

〒 / ☎ ttt w u ☎ ☎